



ダイヤ改正に対する要求提出! NO1

申6号 2017年度「システムチェンジ・コストダウン計画(ダイヤ改正)」に対する申し入れ

新潟地本は、地本申6号として『2017年度「システムチェンジ・コストダウン計画(ダイヤ改正)」に対する申し入れ』を新潟支社に提出しました。

2018年3月に実施予定のダイヤ改正では、新幹線車両の置き換えや特急「いなほ」号の時刻見直しなどによるサービス改善や利便性向上が謳われています。4月に予定される新潟駅連続立体交差事業の暫定開業を見据えた内容も含まれることから、新潟支社にとって重要な意味をもつ施策であるとの認識です。

一方で越後線・柏崎～吉田間へのワンマン運転拡大の実施の提案を受けました。

ワンマン運転に関してはこの間の団体交渉を通じて車両、設備、取り扱い、ルールなどの問題に対して安全、サービス、収入確保など様々な視点から議論を重ねてきました。列車防護係員であり車内秩序維持やお客さま対応等の様々な責務を負う車掌の乗務を省略するリスクは決して小さくはなく、安易に実施できるものでない事はこの間の経緯や議論からも明らかです。ワンマン運転拡大の都度顕在化し、今なお解決できずにいる課題の整理と問題点の克服が新たな施策実施の前提条件です。

また多くの職場において労働の実態と要員・標準数との乖離が表面化しています。要員不足に起因する切り詰め過ぎた勤務操配は労働の質の低下を招き、安全性の低下に直結します。急速な世代交代への対応が急務とされる中で通常の業務遂行は勿論のこと、人材育成や技術継承に必要な人員を確保できるか否かが新潟支社の将来を左右すると言っても過言ではありません。

現場で生じている課題を克服し、ゆとりある社員の作業環境を実現することを通じて、より安全で質の高い輸送サービスを提供できる体制を実現するため以下の通り申し入れました。

申6号 申し入れ項目

【共通】

1. 各運輸区のダイヤ改正プロジェクトメンバーによる列車の持ち替え等の意見交換を行う場を設定すること。
2. 新潟新幹線運輸区にはダイヤ改正プロジェクトが設置されていない根拠を明らかにすること。また人材育成・技術継承の観点からも早急にダイヤ改正プロジェクトを設置すること。
3. 業務上及び業務のために会社施設内で休養(睡眠)を取らなければいけない社員に用意している、寝具及びリネンの交換頻度に衛生上の基準を設けること。
4. 乗務員の各駅対面点呼を廃止し、Face Timeに統一すること。

【ダイヤ改正について】

1. 昨年度における運転士及び車掌の臨時行路の実績及び変形、出張、研修、免除等の勤務、結婚、忌引、病欠、育児、介護等の各種休暇・休職等の実績を運輸区別に明らかにすると共に実績に踏まえた要員を標準数として配置すること。